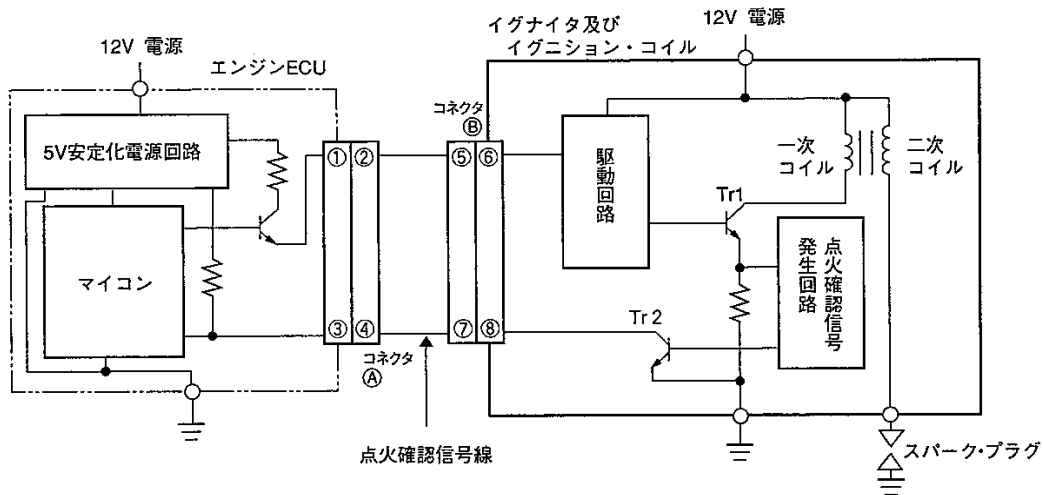


[No. 32] 外部診断器でダイアグノーシス・コードを確認したところ、「点火確認信号系統」を表示したため、図をもとにイグニッション・スイッチ ON の状態でイグナイタ系統回路の電圧点検を行った。故障診断の判断として、適切なものは次のうちどれか。



- (1) コネクタ B を外したとき、端子⑦～ボデー間の電圧が 0V から 5V に変化した場合は、イグナイタ及びイグニッション・コイルの不良が考えられる。
- (2) コネクタ B を外したとき、端子⑦～ボデー間の電圧が 0V から 5V に変化した場合は、点火確認信号線とボデー間の短絡が考えられる。
- (3) コネクタ A 接続状態で、端子④～ボデー間の電圧が 5V の場合は、エンジン ECU の不良が考えられる。
- (4) コネクタ A 接続状態で、端子④～ボデー間の電圧が 0V の場合は、点火確認信号線の断線が考えられる。

答 (1)

- (2) 端子⑦～ボデー間に短絡があるとすれば、コネクタ B を外しても 5V には変化せず、0V のままである。
- (3) 端子④～ボデー間の電圧が 5V の場合は、エンジン ECU から 5V が供給されていることがわかるのでエンジン ECU の不良ではなく、イグナイタ及びイグニッション・コイルの不良である。
- (4) 端子④～ボデー間の電圧が 0V の場合はコネクタ B を外し、  
端子④ 0V から 5V に変化した場合は、イグナイタ及びイグニッション・コイルの不良である。  
端子④の電圧が 0V のままの場合は、エンジン ECU の不良である。